

# 令和6年度 東中学校スクールプラン

～ 夢の実現を目指したスモールステップを重ねて ～

2024. 4. 1

【学校教育指標】  
**夢きよく 道はるか**

## 【学校教育目標】

「豊かな人間性を持つ生徒の育成」

- ・生命の尊さを知って生活しよう
- ・確かな学力を進んで身につけよう
- ・たくましい体づくりに努めよう
- ・正しい判断力をもって行動しよう

日本国憲法 教育基本法 学校教育法  
第4期教育振興基本計画  
山梨県教育振興基本計画（令和6年～令和10年）  
令和6年度 山梨県学校指導指針  
令和6年度 甲府市学校教育指導指針



## 【目指す学校像】

生徒、地域、保護者が安心し、信頼される学校  
生徒が達成感を味わえる特色ある教育を推進する学校  
知徳体の調和のとれた教育を推進する学校

豊かな感性を育て 文武両道を目指し  
生涯にわたる人間力を育成する魅力ある学校

## 【期待する生徒像】

強い意志を持ち、個性豊かな生徒  
自他を敬愛し、社会性に富む生徒  
学習に意欲的に取り組み、真実に生きる生徒  
勤労と責任を重んじ、実行力のある生徒  
正しい判断・豊かな感性をもった生徒  
失敗を恐れず何事にも挑戦する自立した生徒  
未来を生きるバランスのとれた生徒

## 【目指す教師像】

生徒一人ひとりの個性に応じた教育を推進し、  
信頼される教師 学び続ける教師

師弟同業 実践者としての教師  
謙虚な姿勢で誠実に実践を積み重ねる教師  
誇りと職責の重さを自覚し研鑽に励む教師  
※生徒の小さな変化を見逃さず対応できる教師

## 【徹底しよう】

報告→連絡→相談  
→共有→実行を！

和をもって高め合う職員集団 どの子にも魅力ある学校  
縦と横の糸を紡ぐ つながる → 結ぶ

研究主題「生き生きと学習に取り組み、確かな学力を身につけた生徒の育成」  
～ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通じて～

真摯であること 一人で悩ませない教師集団 教師が育つ学校  
(真剣で誠実)志を高く 情報の共有 (教職員→学年主任→教頭→校長)

## 【確かな学力の定着】

- ・基礎的・基本的な内容の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫・改善に取り組む。
- ・授業規律を確立する。
- ・家庭学習・自主学習への取り組みの充実を促し、定期的な分析、検討を行う。
- ・自主学習への取り組みを通し、学習習慣の確立を目指す。
- ・やまなしスタンダード（授業づくりの7つの視点）を意識した取り組みを行う。
- ・特別支援教育の充実と理解、個への対応、チーム東中！
- ・生徒の学習意欲を喚起する。

## 【豊かな人間性の確立】

- ・いじめのない、心豊かな環境をつくる。
- ・教師の感性を高める。（学校・教室の環境づくりを）
- ・人間関係づくりを推進する教育を実践する。
- ・教育相談活動を充実させる。
- ・生徒実態の把握に努め、情報を常に共有する。
- ・18歳選挙権、18歳成人等、社会への参画意識を高め、これからの社会をより良く生きる、バランスの取れた幅広い見識をもたせる。
- ・学級経営の充実。
- ・人権教育及びSDGsに関する教育の推進。

## 【地域と連携した教育の推進】

- ・学校の様子を地域・保護者に公開する。
- ・地域・保護者からの意見や情報を積極的に得る工夫をするとともに、学校評価を通し、教育活動に対する理解と協力を得る。
- ・地域・保護者の教育力を積極的に活用し、キャリア教育等、創造的な教育活動を実践し、地域とともにある学校を目指す。
- ・県や市、地域の文化を積極的に取り入れ、連携し、教育活動を実践する。
- ・外部機関とのさらなる連携。



## 【健康安全教育の推進】

- ・令和6年度部活動指針（運動部 文化部）の提示。
- ・自転車事故等を無くす、安全教育の徹底。
- ・スマホ・タブレット等、情報機器の安全利用の徹底。
- ・健全な身体づくりと心の育成をめざし、基本的な生活習慣を身につけさせる。
- ・防災意識を高め、中学生が果たす役割と、危機管理意識を高める。
- ・がん教育について学習する機会を設け、将来に向けての健康教育を進める。

## 具体的な取組

- ・1人1台端末、ホワイトボード等による小集団活動の工夫。
- ・ICTの積極的・効果的活用による魅力的な授業の創造。
- ・学習意欲の向上を目指した、学習課題の設定、発問の工夫、教材研究の充実。
- ・授業研究を通して、授業力の向上を目指す。
- ・家庭学習の方法を検討し、定着を図る。
- ・主体的・対話的で深い学びを意識し授業改善に取り組む。
- ・主体的な学びを推進し、一斉授業からの脱却を目指す。
- ・甲府スタイルを生かした授業づくり。
- ・市教委学力向上専門員との連携。

- ・命の大切さや思い遣る心を中心とした、道徳授業、学級活動を実践する。
- ・自ら挨拶する、返事をする生徒を育成する。
- ・学級での話し合い活動や集団活動を充実させ、友人関係を豊かにし、安心して何でも話せる学級づくりを目指す。
- ・感染症の状況を的確に判断し、創造的な活動を行う。
- ・環境整備、ボランティア活動に進んで取り組む生徒を育てる。
- ・家庭との連携強化。（積極的に、早期の家庭訪問を）

- ・地域行事への積極的参加を促す。
- ・学校の様子を学級、学年、学校だより、HP等で発信。
- ・PTA活動の中で、保護者からの意見を聞く中で、学校改善を行っていく。
- ・学区の小中学校の連携を、更に進めていく。
- ・外部ボランティアを募り、学校への協力者、理解者を増やす。
- ・英語の小中連携事業を推進する。
- ・ICT機器等を使用した、新しい連携方法を研究する。



- ・生徒自らの感染症対応への意識を高める。
- ・健康安全に留意した計画的な部活動を推進する。（週1、土日どちらかを休み→バランスを）
- ・スマホ・タブレット等、情報機器を使用する際の危険性や責任等について学年・学級での講習会、指導を行う。（道徳授業の実施）
- ・学年・学級と保健室の連携を密にする。
- ・エピペン、AEDの講習を行い、緊急時に生かす。
- ・実際の災害を考え、課題の見える防災訓練を実施。
- ・自助・共助・公助を意識した防災への取組を行う。

- ・全国学力学習状況調査、全教科で平均点以上を目指す。
- ・自主学習ノート提出率、90%に。
- ・毎日の家庭学習時間、学年+1時間以上を80%に。
- ・英語検定受検を推奨。
- ・漢字検定受検を推奨。
- ・一人一実践、研究を通して互いの授業を年2回以上見合う。
- ・市教委学力向上専門員等の授業参観を行う



- ・いじめ0を目指す。
- ・「考え、議論する道徳」を目指し、ホワイトボード等を使った小集団活動を工夫する。
- ・読書や新聞を読む機会を増やし、今後の社会をより良く生きる姿勢を育む。
- ・一日一善を（人の為、自分の為、積み重ね）
- ・OJT 教師集団が切磋琢磨し、豊かな人間関係の中で、高めあう。（本当の意味でのチーム学校を）
- ・教育予算、法のもと、心豊かな職場づくりを目指す。

- ・学校開放日、授業参観等、授業公開を充実させる。
- ・学年・学校だよりを月1回発行する。
- ・全国学力学習状況調査の結果考察等を10月に公開する。
- ・HPの有効活用、適宜更新する。
- ・小中連絡協議会、小中教職員合同研究会の実施。
- ・東中学校区9年間の共通目標「あいさつ 学習 思い遣り」の具体的な連携実践の確認。
- ・小中校長会(年5回)、教頭会等の実施。（情報交換等）
- ・学校運営協議会等の意見を積極的に聴く。

- ・がん教育について、授業、講演を実施する。
- ・体力テストの全ての項目で、昨年の平均以上に。
- ・情報モラルに関する授業を学期1回以上行い、1年次には外部指導者を招聘して講義を行う。
- ・年間30日以上の不登校割合、昨年7.5%を5%に。
- ・いじめ防止基本方針の共通理解100%。
- ・不登校の原因となる学習意欲衰退の解消を、小集団を有効に活用することで行う。
- ・SOSの出し方に関する授業を実施する。

豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いの良さを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身共に健康な東中生の育成を目指す。

甲府市立東中学校 校長 竜澤 規之